

北アルプス広域連合 高齢者等実態調査報告

調査対象：平成22年12月1日現在の在宅生活の要介護・要支援認定者

調査期間：平成22年12月28日(火) ～ 平成23年1月31日(月)

調査方法：関係市町村介護保険担当課の協力に基づく個別訪問等における悉皆調査

1. 調査実施件数等について

・調査対象者数	要介護認定者	2,285人	元気高齢者	115人	合計	2,400人
・調査完了者数	要介護認定者	1,957人	元気高齢者	116人	合計	2,073人
・回収率	要介護認定者	85.6%(前回 83.9%)	[+1.7ポイント]			
	元気高齢者	100.8%(前回 100.0%)	[+0.8ポイント]			
	合計	86.4%(前回 84.8%)	[+1.6ポイント]			

2. 調査実施者の性別・年齢・要介護度等について

・前回調査(平成20年)と比較して男女の比率は、男性が0.7ポイント増加し、寝たきり度においては、自立から軽度者が減少($\Delta 6.3$ ポイント)し、「介護なしに外出しない」、「日中ベッド生活が主体」、「1日中ベッド上で過ごし、排泄・食事・着替えに介護が必要」の中重度者が増加した。
認知度においても、寝たきり度と同じ傾向を示し、「自立」が大幅に減少($\Delta 24.8$ ポイント)し、「多少の問題行動が見られる」、「問題行動や意思疎通の困難さが見られる」などの中重度者が増加した。

3. 要介護・要支援認定者に対する調査結果について

・前回調査(平成20年)と比較して、介護保険料への思いについては、約半数がサービスを維持向上させるために値上げはやむを得ないと考えている反面、約12%が現状の保険料を維持するためにサービスを削減されてもやむを得ないと考えている。
一人暮らしの割合が増加し、要介護度の中重度化が見られた。
必要なサービスを十分利用しているが減少($\Delta 3.3$ ポイント)し、不十分ながら利用しているが増加(2.4ポイント)し、利用者は、サービス提供事業所や人員体制等が不十分であると感じている。
施設への入所希望については、希望するが増加(1.1ポイント)し、施設への入所希望が増加したが、依然として在宅での生活の継続を望んでいる。
施設利用の希望理由としては、家族に迷惑をかけたくない、家族の介護力に不安を感じていることが多くの要因となっている。

4. 一人暮らし高齢者に対する調査結果について

・前回調査(平成20年)と比較して、一人暮らしの心配ごとについては、「ない」が大幅に減少($\Delta 25.0$ ポイント)し、「病気や買い物などについて頼れる人がいない」が大幅に増加(23.5ポイント)し、家族や地域などからの支援を望んでいる状況がうかがえる。
今後の一人暮らしが困難となった場合については、「親族宅で同居したい」が減少($\Delta 16.8$ ポイント)し、「わからない」が大幅に増加(28.9ポイント)した。日々の生活の継続が精いっぱいであり、今後のはっきりした方向性を持っていない状況がうかがえる。

5. 介護者に対する調査結果について

・前回調査(平成20年)と比較して、主たる介護者において、介護サービスのヘルパーが増加(16.2ポイント)し、介護保険のサービス利用は増加したが、依然として家族等が主たる介護者となっている割合は約80%である。
介護者の年齢において、85歳以上の超後期高齢者が増加(4.2ポイント)し、老老介護傾向が顕著に見られた。

平成22年度 高齢者等実態調査票回収状況一覧表

■①高齢者等実態調査アンケート調査票回収状況

2月1日現在

市町村	圏域番号	調査対象者数	回収者数	回収困難者数	回収率	困難含む回収率	回収困難率
大町市	1～3	1,192	988	204	82.9%	100.0%	17.1%
池田町	4	379	352	27	92.9%	100.0%	7.1%
松川村	5	317	287	30	90.5%	100.0%	9.5%
白馬村	6	251	220	31	87.6%	100.0%	12.4%
小谷村	7	146	110	36	75.3%	100.0%	24.7%
合 計		2,285	1,957	328	85.6%	100.0%	14.4%

※大町市の内訳

市町村	圏域番号	調査対象者数	回収者数	回収困難者数	回収率	困難含む回収率	回収困難率
大町市	1(中部)	586	488	98	83.3%	100.0%	16.7%
	2(南部)	273	244	29	89.4%	100.0%	10.6%
	3(北部)	333	256	77	76.9%	100.0%	23.1%
合 計		1,192	988	204	82.9%	100.0%	17.1%

■②元気高齢者アンケート調査票回収状況

市町村	圏域番号	調査対象者数	回収者数	回収率
大町市	1～3	46	45	97.8%
池田町	4	20	20	100.0%
松川村	5	20	21	105.0%
白馬村	6	18	19	105.6%
小谷村	7	11	11	100.0%
合 計		115	116	100.9%

生活圏域1＝28、生活圏域2＝9、生活圏域3＝8

■③高齢者等実態調査、元気高齢者アンケート調査票全体回収状況

市町村	圏域番号	調査対象者数	回収者数	回収率
全市町村	1～7	2,400	2,073	86.4%

■④高齢者等実態調査アンケート調査票回収困難理由

		アンケート調査票回収困難理由					
市町村	圏域番号	長期不在	入院中	死亡・施設 入所・転出	調査拒否	その他	合 計
大町市	1～3	7	43	43	10	101	204
池田町	4	5	6	9	3	4	27
松川村	5	21	0	7	2	0	30
白馬村	6	0	9	7	1	14	31
小谷村	7	9	9	18	0	0	36
合 計		42	67	84	16	119	328
理由割合	1～7	12.8%	20.4%	25.6%	4.9%	36.3%	100.0%
全対象に対する割合	1～7	1.8%	2.9%	3.7%	0.7%	5.2%	14.4%

※その他＝認知症等による聞き取り困難、設問が煩雑すぎて記入できないなど

平成22年度 高齢者等実態調査票回収状況一覧表

■①高齢者等実態調査アンケート調査票回収状況

市町村	調査対象者数	回収者数	回収困難者数	回収率	回収困難率
大町市	1,192	988	204	82.9%	17.1%
池田町	379	352	27	92.9%	7.1%
松川村	317	287	30	90.5%	9.5%
白馬村	251	220	31	87.6%	12.4%
小谷村	146	110	36	75.3%	24.7%
合 計	2,285	1,957	328	85.6%	14.4%

■②元気高齢者アンケート調査票回収状況

市町村	調査対象者数	回収者数	回収率
大町市	46	45	97.8%
池田町	20	20	100.0%
松川村	20	21	105.0%
白馬村	18	19	105.6%
小谷村	11	11	100.0%
合 計	115	116	100.9%

■③高齢者等実態調査、元気高齢者アンケート調査票全体回収状況

市町村	調査対象者数	回収者数	回収率
全市町村	2,400	2,073	86.4%

■④高齢者等実態調査アンケート調査票回収困難理由

市町村	アンケート調査票回収困難理由					合 計
	長期不在	入院中	死亡・施設入所・転出	調査拒否	その他	
大町市	7	43	43	10	101	204
池田町	5	6	9	3	4	27
松川村	21	0	7	2	0	30
白馬村	0	9	7	1	14	31
小谷村	9	9	18	0	0	36
合 計	42	67	84	16	119	328
理由割合	12.8%	20.4%	25.6%	4.9%	36.3%	100.0%
全対象に対する割合	1.8%	2.9%	3.7%	0.7%	5.2%	14.4%

※その他＝認知症等による聞き取り困難、設問が煩雑すぎて記入できないなど

【注意:「割合」及び「比較」の%及びポイント合計は計算式に基づくために0.1前後の誤差が生じる】

1 調査対象者性別

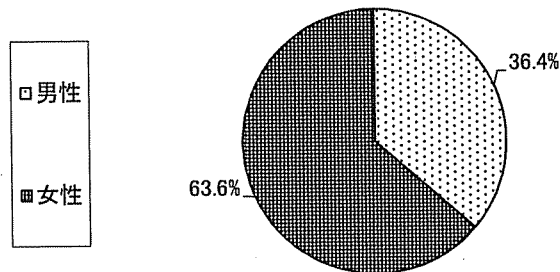
No.	項目	人数(人)	割合
1	男性	80	36.4%
2	女性	140	63.6%
	合計	220	100.0%

○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項目	人数(人)	割合	比較
1	男性	55	30.2%	6.1ポイント
2	女性	127	69.8%	-6.1ポイント
	合計	182	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、男性が0.7ポイント増加し、

調査対象者性別



2 調査対象者年齢

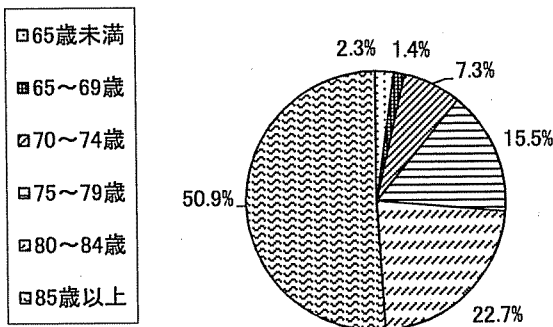
No.	項目	人数(人)	割合
1	65歳未満	5	2.3%
2	65～69歳	3	1.4%
3	70～74歳	16	7.3%
4	75～79歳	34	15.5%
5	80～84歳	50	22.7%
6	85歳以上	112	50.9%
	合計	220	100.0%

○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項目	人数(人)	割合	比較
1	65歳未満	2	1.1%	1.2ポイント
2	65～69歳	8	4.4%	-3.0ポイント
3	70～74歳	16	8.8%	-1.5ポイント
4	75～79歳	27	14.8%	0.6ポイント
5	80～84歳	39	21.4%	1.3ポイント
6	85歳以上	90	49.5%	1.5ポイント
	合計	182	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、前期高齢者(74歳以下)が2.2ポイント減少し、後期高齢者(75歳以上)が2.2ポイント増加し、後期高齢者において、特に、85歳以上が6.1ポイント増加した。

調査対象者年齢



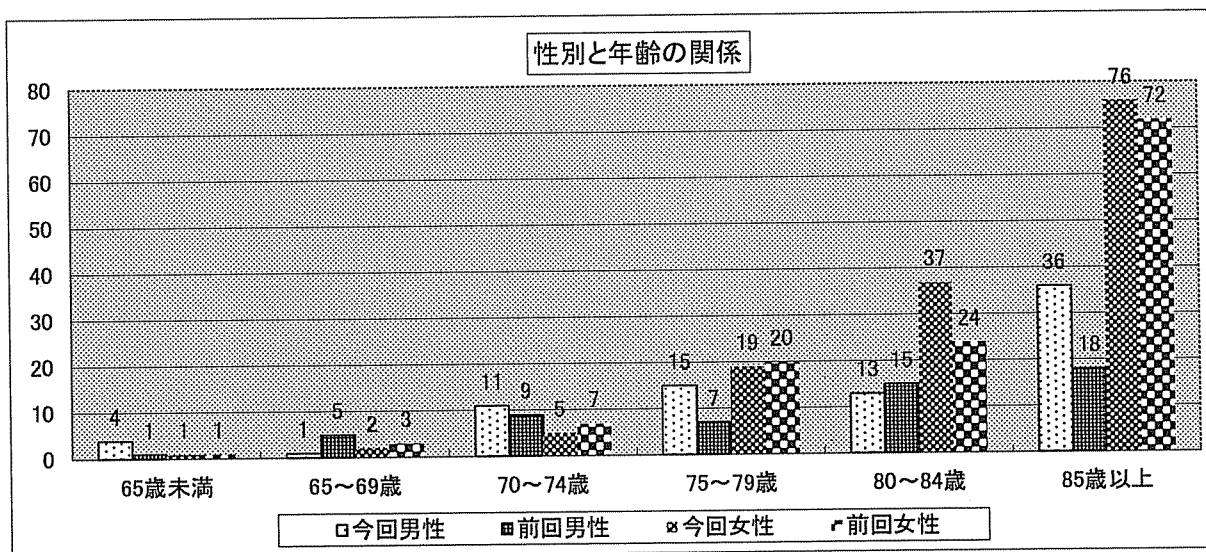
・前回調査と比較して、男性で0.7ポイント増加し、女性で0.7ポイント減少した。
・前期高齢者(74歳以下)は、男性で1.8ポイント、女性で2.7ポイント減少した。
・後期高齢者(75歳以上)は、男性で1.8ポイント、女性が2.7ポイント増加した。

3 性別と年齢の関係

No.	項目	男性	女性
1	65歳未満	4	1
2	65～69歳	1	2
3	70～74歳	11	5
4	75～79歳	15	19
5	80～84歳	13	37
6	85歳以上	36	76
	合計	80	140

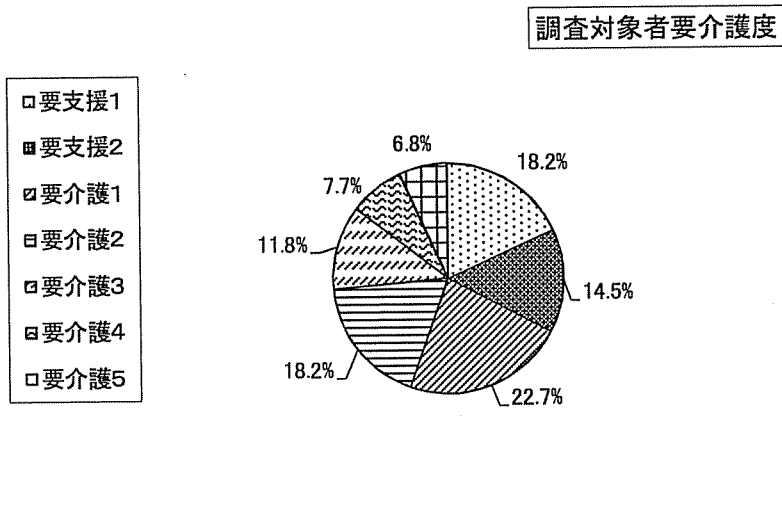
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

				比較	
No.	項目	男性	女性	男性	女性
1	65歳未満	1	1	3.2ポイント	-0.1ポイント
2	65～69歳	5	3	-7.8ポイント	-0.9ポイント
3	70～74歳	9	7	-2.6ポイント	-1.9ポイント
4	75～79歳	7	20	6.0ポイント	-2.2ポイント
5	80～84歳	15	24	-11.0ポイント	7.5ポイント
6	85歳以上	18	72	12.3ポイント	-2.4ポイント
	合計	55	127	0.0ポイント	0.0ポイント



4 調査対象者要介護度

No.	項目	人数(人)	割合
1	要支援1	40	18.2%
2	要支援2	32	14.5%
3	要介護1	50	22.7%
4	要介護2	40	18.2%
5	要介護3	26	11.8%
6	要介護4	17	7.7%
7	要介護5	15	6.8%
合 計		220	100.0%



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項目	人数(人)	割合	比較
1	要支援1	40	18.4%	-0.2ポイント
2	要支援2	35	19.6%	-5.0ポイント
3	要介護1	42	18.3%	4.4ポイント
4	要介護2	25	18.4%	-0.3ポイント
5	要介護3	20	12.9%	-1.1ポイント
6	要介護4	13	7.9%	-0.2ポイント
7	要介護5	7	4.5%	2.4ポイント
合 計		182	100.0%	0.0ポイント

- ・前回調査と比較して、軽度認定者(要支援1～要介護1)が12.0ポイント減少し、特に、要支援1で10.0ポイント減少した。
 - ・中度認定者(要介護2～要介護3)で5.6ポイント増加し、重度認定者(要介護4～要介護5)で6.3ポイント増加した。
 - ・軽度認定者が減少し、中重度認定者が増加したことにより、サービス利用が増加し、結果として保険給付費が増加した。
- (対前年度増加率、平成19年度＝4.0%、平成20年度＝6.9%、平成21年度＝8.6%)

5 年齢と要介護度との関係

No.	項目	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
1	要支援1	0	0	1	5	11	23	40
2	要支援2	1	1	1	8	4	17	32
3	要介護1	1	2	5	10	9	23	50
4	要介護2	1	0	5	4	12	18	40
5	要介護3	1	0	1	3	8	13	26
6	要介護4	0	0	3	3	2	9	17
7	要介護5	1	0	0	1	4	9	15
	合計	5	3	16	34	50	112	220

年齢	割合
65歳未満	2.3%
65～69歳	1.4%
70～74歳	7.3%
75～79歳	15.5%
80～84歳	22.7%
85歳以上	50.9%
合計	100.0%

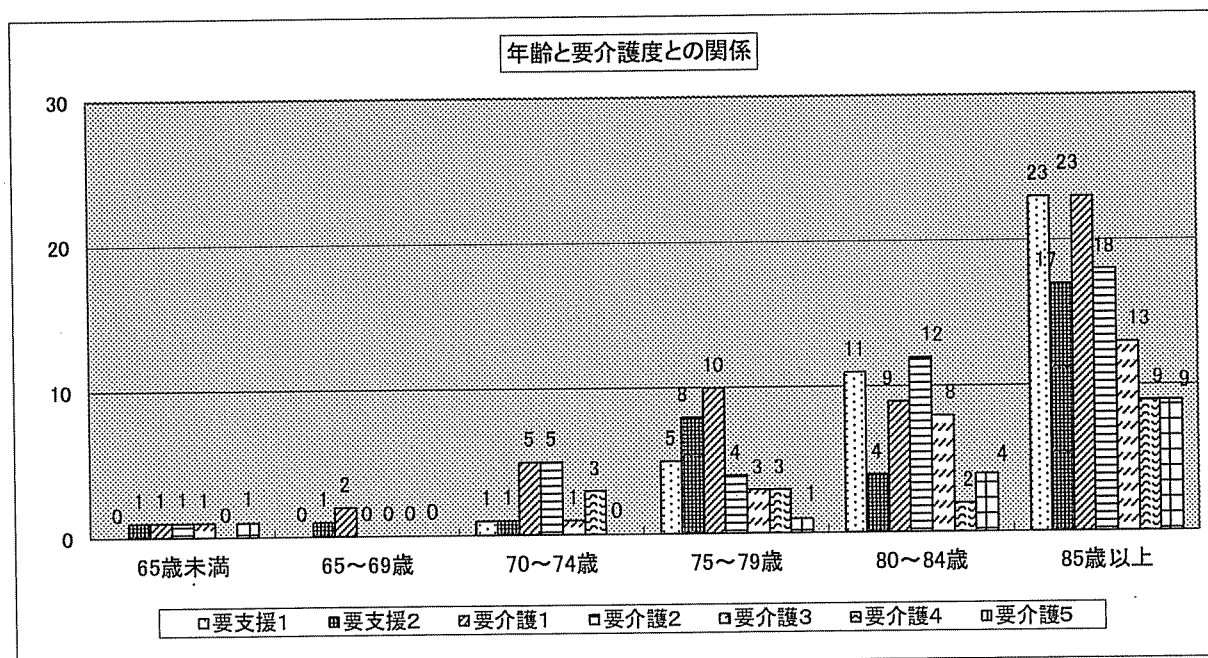
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項目	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
1	要支援1	0	2	6	8	12	12	40
2	要支援2	1	0	3	5	12	14	35
3	要介護1	0	1	2	5	7	27	42
4	要介護2	1	3	2	2	3	14	25
5	要介護3	1	1	0	3	4	11	20
6	要介護4	0	1	1	2	0	9	13
7	要介護5	0	1	0	2	1	3	7
	合計	3	9	14	27	39	90	182

年齢	割合
65歳未満	1.6%
65～69歳	4.9%
70～74歳	7.7%
75～79歳	14.8%
80～84歳	21.4%
85歳以上	49.5%
合計	100.0%

- ・前回調査と比較して、前期高齢者(74歳以下)で2.3ポイント減少し、後期高齢者(75歳以上)で2.3ポイント増加した。
- ・増加した後期高齢者において、特に、85歳以上が6.2ポイント増加した。

年齢	比較
65歳未満	0.6ポイント
65～69歳	-3.6ポイント
70～74歳	-0.4ポイント
75～79歳	0.6ポイント
80～84歳	1.3ポイント
85歳以上	1.5ポイント
合計	0.0ポイント

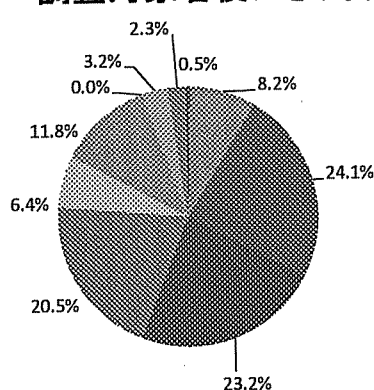


6 調査対象者 寝たきり度

No.	項目	人数(人)	割合
1	自立	1	0.5%
2	J1	18	8.2%
3	J2	53	24.1%
4	A1	51	23.2%
5	A2	45	20.5%
6	B1	14	6.4%
7	B2	26	11.8%
8	C1	0	0.0%
9	C2	7	3.2%
10	不明	5	2.3%
	合 計	220	100.0%

※ 自立
 ※ J1
 ※ J2
 ※ A1
 ※ A2
 ※ B1
 ※ B2
 ※ C1
 ※ C2
 ※ 不明

調査対象者寝たきり度



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項目	人数(人)	割合	比較
1	自立	1	0.5%	-0.1ポイント
2	J1	13	7.1%	1.0ポイント
3	J2	62	34.1%	-10.0ポイント
4	A1	49	26.9%	-3.7ポイント
5	A2	29	15.9%	4.5ポイント
6	B1	8	4.4%	2.0ポイント
7	B2	19	10.4%	1.4ポイント
8	C1	0	0.0%	0.0ポイント
9	C2	1	0.5%	2.6ポイント
10	不明	0	0.0%	2.3ポイント
	合 計	182	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、「自立」で0.8ポイント、「何らかの障害を有するが、日常生活ほぼ自立（交通機関等を利用して外出）」のJ1で2.0ポイント、「何らかの障害を有するが、日常生活ほぼ自立（隣近所へなら外出する）」のJ2で3.5ポイントと、軽度者が減少した。
 ・「屋内生活は概ね自立しているが、介護なしで外出しない（日中ほとんどベッドから離れる）」のA1以上の中重度者が増加し、特に、「屋内生活は概ね自立しているが、介護なしで外出しない（外出頻度少なく、寝たり起きたりの生活）」のA2で3.0ポイント、「1日中ベッド上で過ごし、排泄・食事・着替えに介護必要（自力で寝返り打てない）」のC2で1.9ポイント増加した。
 ・中重度者を支える通所介護や短期入所介護の整備が、今後の課題だと思われる。

【説明】

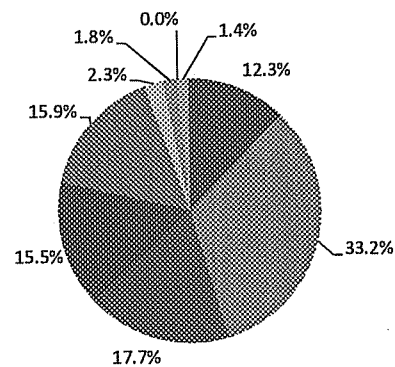
区分	内 容
J1	何らかの障害を有するが、日常生活ほぼ自立（交通機関等を利用して外出）
J2	何らかの障害を有するが、日常生活ほぼ自立（隣近所へなら外出する）
A1	屋内生活は概ね自立しているが、介護なしで外出しない（日中ほとんどベッドから離れる）
A2	屋内生活は概ね自立しているが、介護なしで外出しない（外出頻度少なく、寝たり起きたりの生活）
B1	屋内での生活に介護を要し、日中ベッド生活主体で座位保持可能（車椅子に移乗できる）
B2	屋内での生活に介護を要し、日中ベッド生活主体で座位保持可能（車椅子に移乗できない）
C1	1日中ベッド上で過ごし、排泄・食事・着替えに介護必要（自力で寝返り打てる）
C2	1日中ベッド上で過ごし、排泄・食事・着替えに介護必要（自力で寝返り打てない）

7 調査対象者 認知度

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	自立	27	12.3%
2	I	73	33.2%
3	II a	39	17.7%
4	II b	34	15.5%
5	III a	35	15.9%
6	III b	5	2.3%
7	IV	4	1.8%
8	M	0	0.0%
9	不明	3	1.4%
	合 計	220	100.0%

※ 自立
 ※ I
 ※ II a
 ※ II b
 ※ III a
 ※ III b
 ※ IV
 ※ M
 ※ 不明

調査対象者認知度



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	自立	42	23.1%	-10.8ポイント
2	I	54	29.7%	3.5ポイント
3	II a	37	20.3%	-2.6ポイント
4	II b	28	15.4%	0.1ポイント
5	III a	17	9.3%	6.6ポイント
6	III b	4	2.2%	0.1ポイント
7	IV	0	0.0%	1.8ポイント
8	M	0	0.0%	0.0ポイント
9	不明	0	0.0%	1.4ポイント
	合 計	182	100.0%	0.0ポイント

- ・前回調査と比較して、自立で24.8ポイント減少し、認知度が軽度から中重度に増加した。
- ・増加が大きい認知度は、「多少の問題行動や意思疎通の困難さは見られるが、誰かが注意すれば自立できる(家庭外)」のII aで6.6ポイント、「問題行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする(夜間を中心とした状況)」のIII aで6.1ポイントであり、認知度がより重度のIII bで2.1ポイント、IVで2.5ポイント増加した。
- ・認知症に対する支援及びサービス提供体制が、今後の課題であると思われる。

【説明】

区分	内 容
I	認知症状を有するが、日常生活はほぼ自立している
II a	多少の問題行動や意思疎通の困難さは見られるが、誰かが注意すれば自立できる(家庭外)
II b	多少の問題行動や意思疎通の困難さは見られるが、誰かが注意すれば自立できる(家庭内)
III a	問題行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする(日中を中心とした状況)
III b	問題行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする(夜間を中心とした状況)
IV	問題行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	せん妄や妄想等の著しい精神状況や問題行動が見られ、専門的治療を必要とする

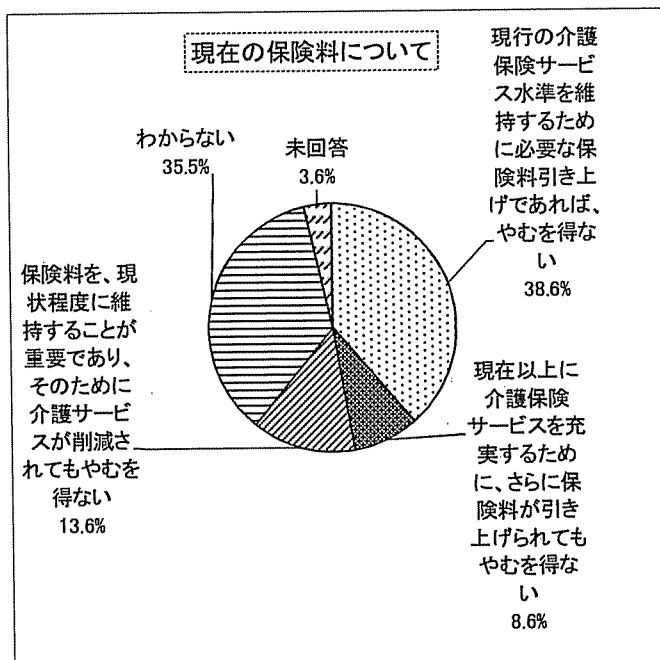
【注意:「割合」及び「比較」の%及びポイント合計は計算式に基
ために0.1前後の誤差が生じる】

問1 現在の保険料について(月額標準3,870円)

■要介護認定者

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	現行の介護保険サービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない	85	38.6%
2	現在以上に介護保険サービスを充実するために、さらに保険料が引き上げられてもやむを得ない	19	8.6%
3	保険料を、現状程度に維持することが重要であり、そのために介護サービスが削減されてもやむを得ない	30	13.6%
4	わからない	78	35.5%
5	未回答	8	3.6%
	合 計	220	100.0%

※ 月額標準保険料 全国平均4,160円 長野県平均4,039円



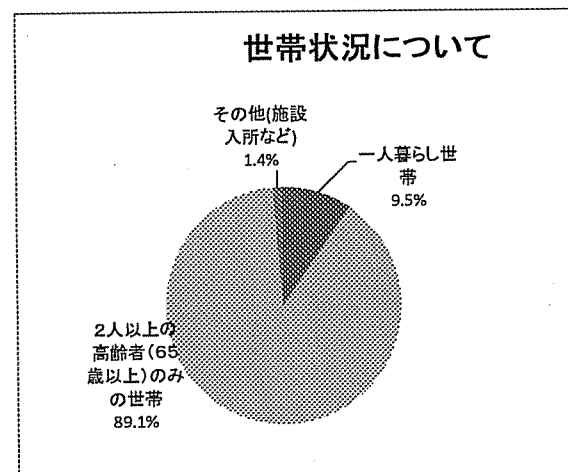
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	高いと思う	24	13.2%	-15.5ポイント
2	少し高いと思う	29	15.9%	
3	ちょうど良いと思う	75	41.2%	-2.6ポイント
4	少し安いと思う	9	4.9%	1.5ポイント
5	安いと思う	4	2.2%	
6	わからない	41	22.5%	12.9ポイント
7	未回答	0	0.0%	3.6ポイント
	合 計	182	100.0%	0.0ポイント

- ・今回の調査項目と前回の調査項目に違いがあるため、直接の比較は困難である。
- ・あえて前回調査と比較すると、「現行の介護保険サービス水準を維持するために必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」と考えている人が約半数であった。
- ・驚きなことは、「保険料を、現状程度に維持することが重要であり、そのために介護サービスが削減されてもやむを得ない」と考えている人が約12%であったことである。介護サービス利用者が、これ以上介護保険料が値上げになるのなら、サービスを削減されてもしかたないと思っていることは、改めて驚きであった。

問2 世帯状況について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	一人暮らし世帯	21	9.5%
2	2人以上の高齢者(65歳以上)のみの世帯	196	89.1%
3	その他(施設入所など)	3	1.4%
	合計	220	100.0%



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	一人暮らし世帯	14	7.7%	1.9ポイント
2	2人以上の高齢者(65歳以上)のみの世帯	41	22.5%	-3.2ポイント
3	その他の世帯(高齢者以外の方との同居世帯)	127	69.8%	
4	その他	0	0.0%	1.4ポイント
	合計	182	100.0%	0.0ポイント

- ・前回調査と比較して、一人暮らしが1.6ポイント増加し、家族などとの同居(二世帯住宅を含む)が2.7ポイント減少した。

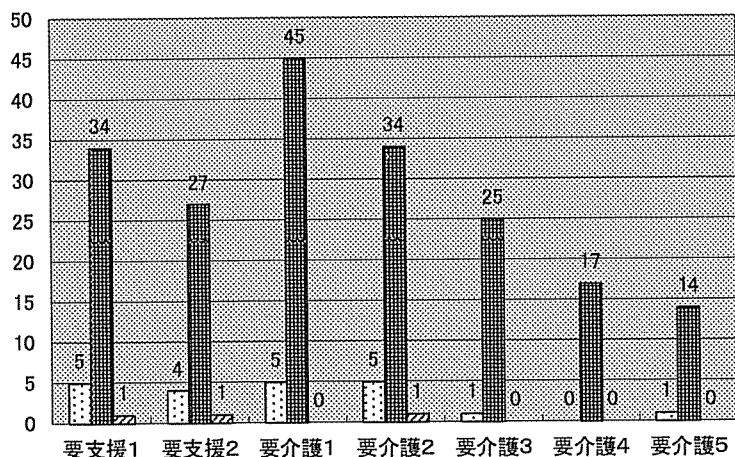
CF:要介護状態と世帯状況の関係

No.	要介護状態	世 帯 状 況				世 帯 状 況 割 合			
		一人暮らし世帯 =①	家族などとの 同居=②	その他(施設 入所など)= ③	合計	①の割合	②の割合	③の割合	合計(平均)
1	要支援1	5	34	1	40	23.8%	17.3%	33.3%	20.6%
2	要支援2	4	27	1	32	19.0%	13.8%	33.3%	16.4%
3	要介護1	5	45	0	50	23.8%	23.0%	0.0%	23.4%
4	要介護2	5	34	1	40	23.8%	17.3%	33.3%	20.6%
5	要介護3	1	25	0	26	4.8%	12.8%	0.0%	8.8%
6	要介護4	0	17	0	17	0.0%	8.7%	0.0%	4.3%
7	要介護5	1	14	0	15	4.8%	7.1%	0.0%	6.0%
	合 計	21	196	3	220	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	要介護状態	世 帯 状 況				世 帯 状 況 割 合			
		一人暮らし世帯 =④	2人以上の高 齢者(65歳以 上)のみの世帯 =⑤	その他の世 帯(高齢者以 外の方との 同居世帯)= ⑥	合計	④の割合	⑤の割合	⑥の割合	合計(平均)
1	要支援1	4	8	28	40	28.6%	4.8%	16.7%	25.0%
2	要支援2	5	7	23	35	35.7%	4.2%	13.7%	26.8%
3	要介護1	3	12	27	42	21.4%	7.1%	16.1%	22.3%
4	要介護2	0	4	21	25	0.0%	2.4%	12.5%	7.4%
5	要介護3	0	4	16	20	0.0%	2.4%	9.5%	6.0%
6	要介護4	1	6	6	13	7.1%	3.6%	3.6%	7.1%
7	要介護5	1	0	6	7	7.1%	0.0%	3.6%	5.4%
	合 計	14	41	127	182	100.0%	24.4%	75.6%	100.0%

要介護度と世帯状況



□一人暮らし世帯=①

■家族などとの同居=②

■その他(施設入所など)=③

比 較

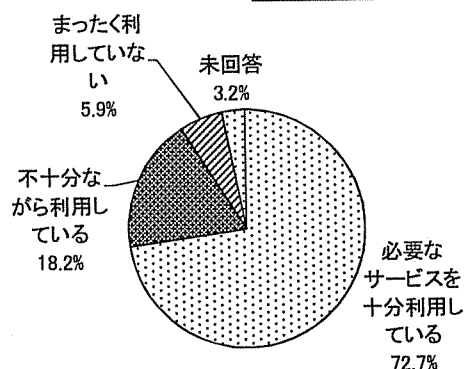
区 分	①-④	②-(④+⑤)	③	合 計
要支援1	-4.8ポイント	-4.1ポイント	33.3ポイント	-4.4ポイント
要支援2	-16.7ポイント	-4.1ポイント	33.3ポイント	-10.4ポイント
要介護1	2.4ポイント	-0.3ポイント	0.0ポイント	1.1ポイント
要介護2	23.8ポイント	2.5ポイント	33.3ポイント	13.1ポイント
要介護3	4.8ポイント	0.9ポイント	0.0ポイント	2.8ポイント
要介護4	-7.1ポイント	1.5ポイント	0.0ポイント	-2.8ポイント
要介護5	-2.4ポイント	3.6ポイント	0.0ポイント	0.6ポイント
合 計	0.0ポイント	0.0ポイント	100.0ポイント	0.0ポイント

・前回調査と比較して、一人暮らしにおいての要介護度の中重度化がみられ、また、家族など同居においても要介護度の中重度化が見られた。

問3 介護サービスの利用状況について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	必要なサービスを十分利用している	160	72.7%
2	不十分ながら利用している	40	18.2%
3	まったく利用していない	13	5.9%
4	未回答	7	3.2%
	合計	220	100.0%

介護サービス利用状況



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	必要なサービスを十分利用している	144	79.1%	-6.4ポイント
2	不十分ながら利用している	28	15.4%	2.8ポイント
3	まったく利用していない	10	5.5%	0.4ポイント
4	未回答	0	0.0%	3.2ポイント
	合計	182	100.0%	0.0ポイント

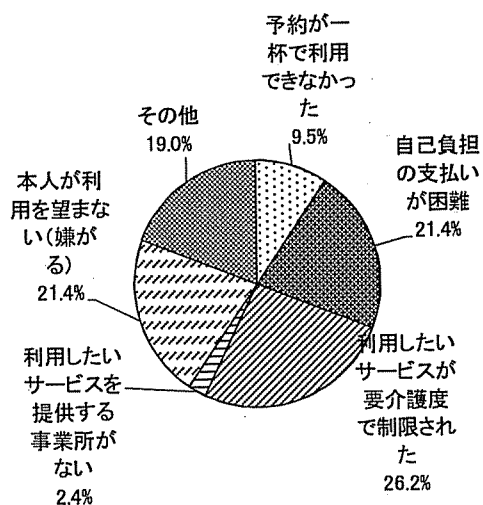
・前回調査と比較して、「必要なサービスを十分利用している」が3.3ポイント、「まったく利用していない」が0.8ポイント減少し、「不十分ながら利用している」が2.4ポイント増加した。
 ・サービス利用者としては、介護サービスを提供する事業所数や種類、人員体制などが不十分であると感じている。

問4 介護サービス利用が不十分な理由について

(問2で「不十分ながら利用している」に○を付けた人への質問 複数回答)

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	予約が一杯で利用できなかった	4	9.5%
2	自己負担の支払いが困難	9	21.4%
3	利用したいサービスが要介護度で制限された	11	26.2%
4	利用したいサービスを提供する事業所がない	1	2.4%
5	本人が利用を望まない(嫌がる)	9	21.4%
6	その他	8	19.0%
	合計	42	100.0%

不十分な利用の理由



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

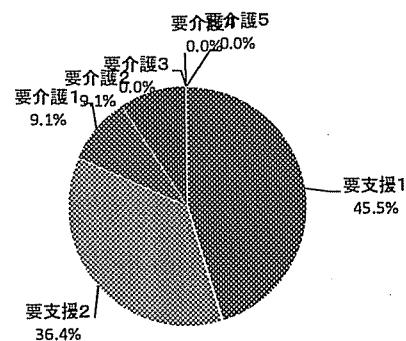
No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	予約が一杯で利用できなかった	4	12.1%	-2.6ポイント
2	自己負担が困難	8	24.2%	-2.8ポイント
3	要介護度により制限された	15	45.5%	-19.3ポイント
4	サービス提供事業所がない	2	6.1%	-3.7ポイント
5	本人が利用を望まない(嫌がる)	0	0.0%	21.4ポイント
6	その他	4	12.1%	6.9ポイント
	合計	33	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、「予約が一杯で利用できなかった」が0.7ポイント、「自己負担が困難」が7.5ポイント減少し、特に、「要介護度により制限された」が18.2ポイントと大きな減少となった。要因は、平成18年度の制度改正において、軽度認定者に対する福祉用具の利用が緩和されたことによると思われる。
 ・「本人が利用を望まない(嫌がる)」が28.4ポイント増加したことは、介護者にとって、精神的身体的なストレスにつながることであり、必要なサービス利用を提供できる支援体制が必要である。

○要介護度により制限された要介護度区分について

No.	要介護状態	人数(人)	割合
1	要支援1	5	45.5%
2	要支援2	4	36.4%
3	要介護1	1	9.1%
4	要介護2	1	9.1%
5	要介護3	0	0.0%
6	要介護4	0	0.0%
7	要介護5	0	0.0%
	合 計	11	100.0%

要介護度によりサービスを制限された要介護度区分



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

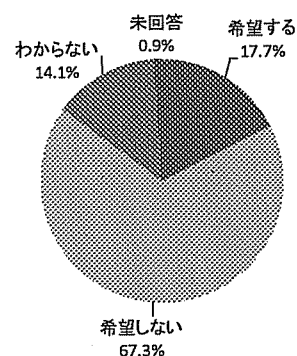
No.	要介護状態	人数(人)	割合	比較
1	要支援1	3	32.7%	12.7ポイント
2	要支援2	1	24.5%	11.8ポイント
3	要介護1	0	14.5%	-5.5ポイント
4	要介護2	2	14.5%	-5.5ポイント
5	要介護3	4	8.2%	-8.2ポイント
6	要介護4	3	2.7%	-2.7ポイント
7	要介護5	2	2.7%	-2.7ポイント
	合 計	15	100.0%	0.0ポイント

- ・前回調査と比較して、要介護度により、介護サービスの提供が制限された要介護度は、要支援1で16.3ポイント、要介護3で4.1ポイント減少した。
- ・要支援1における大きな減少は、軽度認定者に対する福祉用具の利用の制限が緩和されたことによる。
- ・逆に、要支援2で8.3ポイント、要介護2で4.6ポイント、要介護4で4.1ポイント増加し、要因としては、1ランク上の要介護度との「介護の手間」の時間的な差があまりない状況による区分支給限度額に係る制限と考えられる。

問5 施設への入所希望について

No.	項 目	人数(人)	割合
1	希望する	39	17.7%
2	希望しない	148	67.3%
3	わからない	31	14.1%
4	未回答	2	0.9%
	合計	220	100.0%

施設希望状況



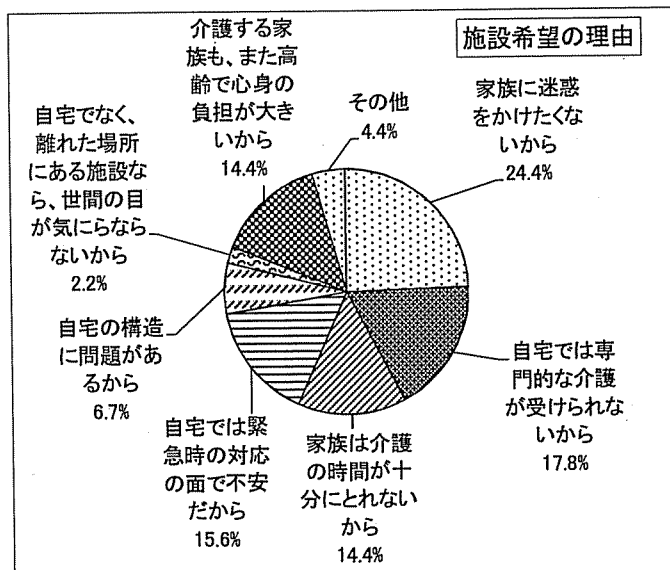
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割合	比較
1	希望する	28	15.4%	2.3ポイント
2	希望しない	126	69.2%	-2.0ポイント
3	わからない	28	15.4%	-1.3ポイント
4	未回答	0	0.0%	0.9ポイント
	合計	182	100.0%	0.0ポイント

- ・前回調査と比較して、「希望する」が1.1ポイント、「わからない」が1.4ポイント増加し、逆に、「希望しない」が3.6ポイント減少した。
- ・施設利用に対する要望が増加している。

問6 施設への入所を希望する理由について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	家族に迷惑をかけたくないから	22	24.4%
2	自宅では専門的な介護が受けられないから	16	17.8%
3	家族は介護の時間が十分にとれないから	13	14.4%
4	自宅では緊急時の対応の面で不安だから	14	15.6%
5	自宅の構造に問題があるから	6	6.7%
6	自宅ではなく、離れた場所にある施設なら、世間の目が気にならないから	2	2.2%
7	介護する家族も、また高齢で心身の負担が大きいから	13	14.4%
8	その他	4	4.4%
	合計	90	100.0%



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	家族に迷惑をかけたくないから	9	17.6%	6.8ポイント
2	自宅では専門的な介護が受けられないから	9	17.6%	0.1ポイント
3	家族は介護の時間が十分にとれないから	16	31.4%	-16.9ポイント
4	自宅では緊急時の対応の面で不安だから	8	15.7%	-0.1ポイント
5	自宅の構造に問題があるから	8	15.7%	-9.0ポイント
6	自宅ではなく、離れた場所にある施設なら、世間の目が気にならないから	1	2.0%	0.3ポイント
7	介護する家族も、また高齢で心身の負担が大きいから	0	0.0%	14.4ポイント
8	その他	0	0.0%	4.4ポイント
	合計	51	100.0%	0.0ポイント

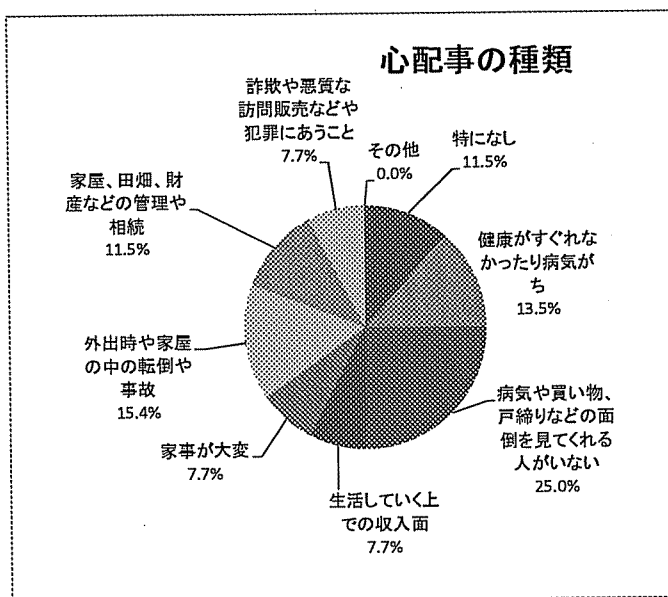
・前回調査と比較して、施設利用の希望理由として、「家族に迷惑をかけたくないから」が1.2ポイント、「自宅では緊急時の対応の面で不安だから」が1.4ポイント増加し、逆に、「自宅の構造に問題があるから」が3.9ポイント、「自宅では専門的な介護が受けられないから」が4.1ポイント、「家族は介護の時間が十分とれないから」が8.7ポイント減少した。

・「自宅の構造に問題があるから」が減少した要因として、介護保険サービスの住宅改修の利用の増加が考えられる。

・「家族は介護の時間が十分とれないから」は、前回よりポイントは減少したが、入所希望の理由の第1位であり、依然として家族に係る思いによる施設の入所希望が多い状況である。

問7 一人暮らしの心配ごとについて

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	特になし	6	11.5%
2	健康がすぐれなかったり病気がち	7	13.5%
3	病気や買い物、戸締りなどの面倒を見てくれる人がいない	13	25.0%
4	生活していく上での収入面	4	7.7%
5	家事が大変	4	7.7%
6	外出時や家屋の中の転倒や事故	8	15.4%
7	家屋、田畑、財産などの管理や相続	6	11.5%
8	詐欺や悪質な訪問販売などや犯罪にあうこと	4	7.7%
9	その他	0	0.0%
	合計	52	100.0%



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

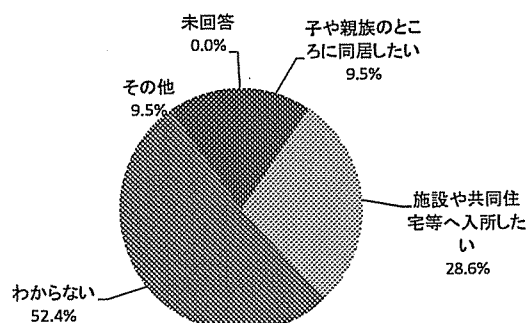
No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	ない	5	35.7%	-24.2ポイント
2	健康がすぐれなかったり、病気がちである	4	28.6%	-15.1ポイント
3	頼れる人がいない	1	7.1%	17.9ポイント
4	生活のための収入が少ない	3	21.4%	-13.7ポイント
5	家事が大変である	0	0.0%	7.7ポイント
6	外出時の転倒や事故が心配	1	7.1%	8.2ポイント
7	家屋、田畑、財産などの管理や相続	0	0.0%	11.5ポイント
8	だまされたり、犯罪に巻き込まれないか	0	0.0%	7.7ポイント
9	その他	0	0.0%	0.0ポイント
	合計	14	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、一人暮らしの心配ごとについては、「ない」が25.0ポイント減少し、何らかの心配ごとを抱えている状況である。
・特に、「頼れる人がいない」が23.5ポイント増加し、病気になった場合や買い物などに心配している状況である。

問8 今後の一人暮らしが困難となった場合について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	子や親族のところに同居したい	2	9.5%
2	施設や共同住宅等へ入所したい	6	28.6%
3	わからない	11	52.4%
4	その他	2	9.5%
5	未回答	0	0.0%
	合計	21	100.0%

独り暮らしが困難となった場合の考え



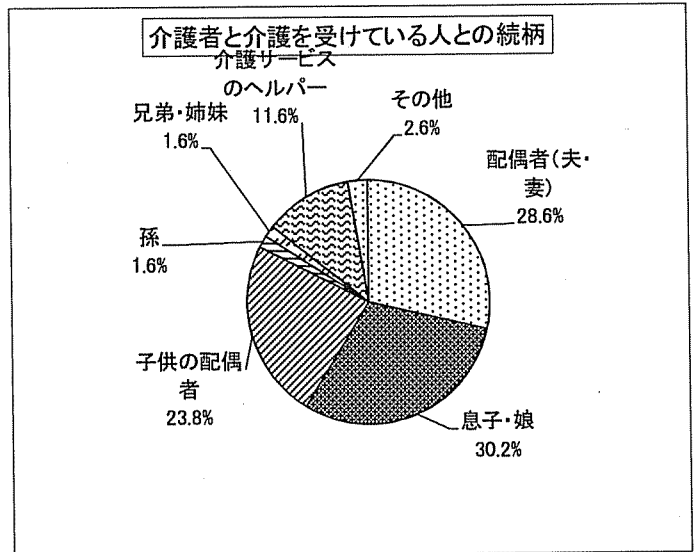
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	親族宅で同居したい	4	28.6%	-19.0ポイント
2	施設や共同住宅等へ入所(入居)したい	5	35.7%	-7.1ポイント
3	わからない	0	0.0%	52.4ポイント
4	その他	5	35.7%	-26.2ポイント
5	未回答	0	0.0%	0.0ポイント
	合計	14	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、今後の一人暮らしが困難となった場合については、「親族宅で同居したい」が16.8ポイント減少し、「わからない」が28.9ポイント増加した。
・日々の生活の継続が精一杯であり、今後のはっきりとした方向性を持っていない状況である。

問9 介護者と介護を受けている方との続柄について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	配偶者(夫・妻)	54	28.6%
2	息子・娘	57	30.2%
3	子供の配偶者	45	23.8%
4	孫	3	1.6%
5	兄弟・姉妹	3	1.6%
6	介護サービスのヘルパー	22	11.6%
7	その他	5	2.6%
	合計	189	100.0%



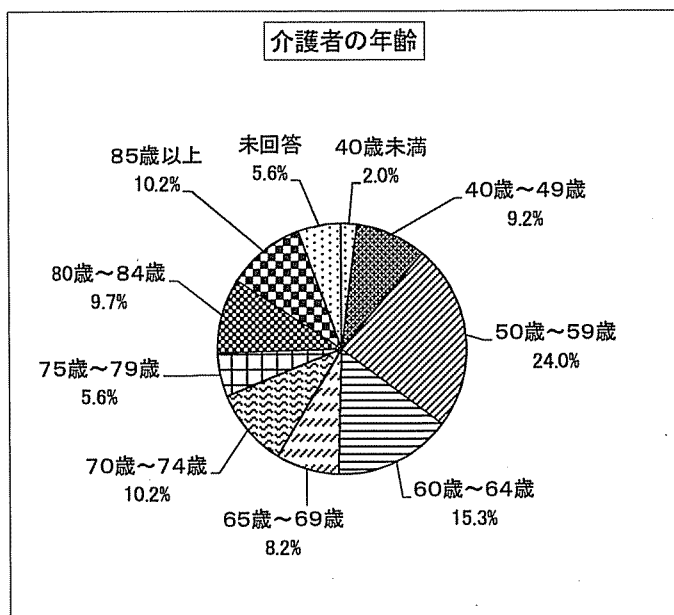
○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	配偶者	62	36.9%	-8.3ポイント
2	子供	50	29.8%	0.4ポイント
3	子供の配偶者	49	29.2%	-5.4ポイント
4	孫(配偶者の孫を含む)	2	1.2%	0.4ポイント
5	兄弟・姉妹	2	1.2%	-1.4ポイント
6	その他親族(上記以外)	3	1.8%	
7	家政婦等	0	0.0%	11.6ポイント
8	介護サービスのヘルパー	0	0.0%	
9	その他・未回答	0	0.0%	2.6ポイント
	合計	168	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、主たる介護者は、「配偶者」が7.8ポイント、「子供の配偶者」が8.3ポイント減少し、「介護サービスのヘルパー」が16.2ポイント増加した。
 ・「介護サービスのヘルパー」が主たる介護者となることは、介護保険の利用が増加した結果であり、また、介護保険の目的である社会全体で介護を支えることへつながるものである。
 ・しかしながら、依然として主たる介護者が家族等である割合は約80%を占めている。

問10 介護者の年齢について

No.	項 目	人数(人)	割 合
1	40歳未満	4	2.0%
2	40歳～49歳	18	9.2%
3	50歳～59歳	47	24.0%
4	60歳～64歳	30	15.3%
5	65歳～69歳	16	8.2%
6	70歳～74歳	20	10.2%
7	75歳～79歳	11	5.6%
8	80歳～84歳	19	9.7%
9	85歳以上	20	10.2%
10	未回答	11	5.6%
	合計	196	100.0%



○前回調査(H19.12.5～H20.2.8調査)

No.	項 目	人数(人)	割 合	比 較
1	40歳未満	5	3.0%	-0.9ポイント
2	40歳～49歳	11	6.5%	2.6ポイント
3	50歳～59歳	54	32.1%	-8.2ポイント
4	60歳～64歳	17	10.1%	5.2ポイント
5	65歳～69歳	20	11.9%	-3.7ポイント
6	70歳～74歳	16	9.5%	0.7ポイント
7	75歳～79歳	18	10.7%	-5.1ポイント
8	80歳～84歳	17	10.1%	-0.4ポイント
9	85歳以上	10	6.0%	4.3ポイント
10	未回答	0	0.0%	5.6ポイント
	合計	168	100.0%	0.0ポイント

・前回調査と比較して、「40歳未満」、「40歳～49歳」、「50歳～59歳」、「70歳～74歳」、「75歳～79歳」、「80歳～84歳」の介護者の割合が減少し、特に「50歳～59歳」で5.4ポイント減少した。

・逆に「60歳～64歳」、「65歳～69歳」、「85歳以上」が増加し、特に「85歳以上」が4.2ポイント増加した。

・介護者の高齢化がみられ、老老介護の実態が明らかになった。